



## 清水希容子

一般財団法人 日本経済研究所 地域未来研究センター 研究主幹

和東町<sup>わづかちょう</sup>は人口約4,600人、京都府最南端の山あいに位置する。京都駅から JR 奈良線で南下し、加茂駅までわずか1時間で着く。そこからバスに15分ほど揺られ、徐々にのどかな風景となる。

1954年に、西和東村、中和東村、東和東村が合併し「和東町」となった。万葉集に「和豆香<sup>わづか</sup>」の文字が残る、歴史の町である。奈良の平城京跡から離れること20km、平城京の後に築かれた恭仁京<sup>くにおきょう</sup>跡が近くにあり、滋賀の紫香楽宮<sup>しがらきのみや</sup>、伊賀を結ぶ交通の要所だった。

町は盆地の中にあり、中央に和東川が流れる。小さな山の頂きまで広がる茶畑が、あちこちにみえる。軽トラックがやっと通れる狭い急坂を登っていくと、集落ごとに美しく整った茶畑と民家が現れる。

山の斜面は日当たりがよく、霧の発生で遮光されるため茶畑に適する。大型機械が入らず、剪定から収穫までのすべてを手作業で行う。人の技と手間をかけて、最高級品とされる宇治茶の45%、碾茶<sup>てんちゃ</sup>日本一の生産を誇る。専業兼業あわせて約280軒の農家があり、町民の4分の1以上がお茶産業に関わる。

茶農家の有志が運営する「和東茶カフェ」で、コクとまろやかさが同居する山吹色の和東茶をいただいていると、その場に納品に来る生産者の方と会い、直接話をすることができる。生業としてのお茶栽培の歴史が800年になることを知る。「茶樹の育て方、収穫時期、加工法によって、様々な種類のお茶の魅力がある。多くの子供たちに知ってもらえた

ら……」とお茶の匠は語る。

そんなお茶産地の和東町であっても、近年の少子化で児童数が減少している。小学校生徒数は182人となり、複数あった小学校は一つに統合、1学年1クラスとなった。相楽郡東部に属する南山城村<sup>みなみやましろ</sup>（人口：約3,100人、小学校生徒数：92人）と笠置町<sup>かさぎまちょう</sup>（約1,600人、42人）も同様の状況で、笠置町は複式学級が行われる。このままでは、子供たちや先生たちの交流や切磋琢磨する環境がなくなってしまう。

将来への危機感が共有され、2010年に3町村による“相楽東部広域連合”が発足し、3つの町村教育委員会と1つの教育委員会組合が一本化された。3町村は、地理的に一体感があり人的交流のある土地柄から、教育面では、生涯学習講座の共同開催など、出来ることから連携が行われていた。そのような取組を経て、より強いつながりの、独立した権限を有する広域連合の設立へとつながった。教育分野から始まる広域連合の取組は、全国でも珍しい（右表参照）。

各町村の小学校が、同じ教育方針下となったことで、統一の学力テストや体力記録会、文化祭での交流が行われる。また、地域の伝統と文化を受け継ぐ教育にも力を入れ、和東町では、卒業式にお茶会が開かれ、自然豊かな南山城村では、絶滅危惧種のマルガタゲンゴロウの繁殖に取り組むようになった。

小さな町村の強いつながりが、未来の大きな力を育んでいる。

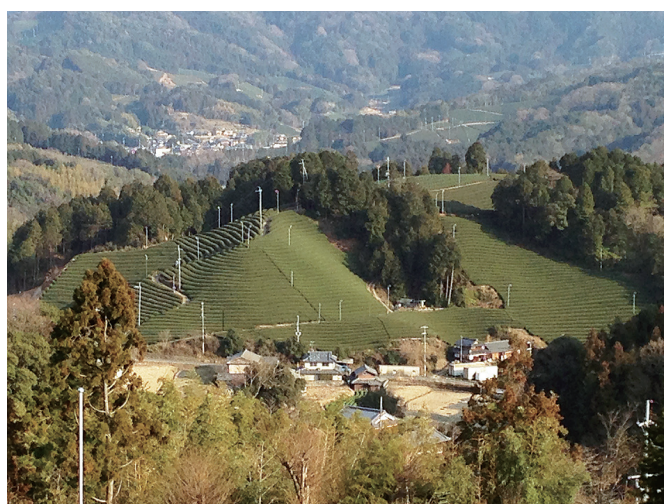
町のあり様について、由布院温泉の中谷健太郎氏は語りました。

小さいから、身近に暖かい関係が生まれる。  
 小さいから、個性的な価値を生み出せる。  
 小さいから、大きな資本を必要としない。

### 町村連合

広域連合名	構成町村		主な取組			
	町	村	教育	医療・介護	ごみ処理	観光
大雪地区 (北海道)	東川 美瑛 東神楽			○		
後志 (北海道)	黒松内 蘭越 ニセコ 喜茂別 京極 他5町	島牧 真狩 留寿都 泊 神恵内 赤井川		○		
最上地区 (山形)	金山 真室川	鮭川 戸沢		○		
木曾 (長野)	木曾 上松 南木曾	木祖 王滝 大桑		○	○	○
安八郡 (岐阜)	神戸 輪之内 安八			○		
揖斐 (岐阜)	揖斐川 大野 池田			○		
度会 (三重)	度会 南伊勢 大紀			○		
相楽東部 (京都)	和束 笠置	南山城	○		○	
南部箕蚊屋 (鳥取)	南部 伯耆	日吉津		○		
中芸 (高知)	奈半利 田野 安田	北川 馬路		○	○	○
上益域 (熊本)	御船 嘉島 益城 甲佐 山都			○		
徳之島 愛ランド (鹿児島)	徳之島 天城 伊仙				○	

\* 町村のみ（3町村以上）で構成される広域連合 (資料) 総務省 HP



和束町の茶畑 (京都府景観資産登録第一号)